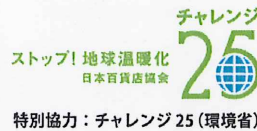


百貨店を遊ぼう!



平成22年7月2日
日本百貨店協会

～ 環境省が推進する『チャレンジ25』応援イベント、顧客から広く川柳作品を募集 ～ 『全国百貨店わがまちエコライフ川柳』について

日本百貨店協会（会長：鈴木弘治 高島屋社長）では、昨年に引き続き、『百貨店を遊ぼう！』を統一標語に掲げて、今年秋に百貨店業界をあげた共同販促キャンペーンを展開する計画を進めていますが、そのコアイベントの一つとして、本年も、最近の川柳ブームを取り込んだ顧客参加型イベント『全国百貨店わがまちエコライフ川柳』を実施いたします。

環境省の特別協力を得て拡大展開

川柳の募集イベントについては、昨年も『全国百貨店けんすいまく川柳』というタイトルで展開し、合計で15,255句という多数の応募をいただきましたが、第2回目となる本年は、新たに環境省の特別協力を得ることで、同省が推進する『チャレンジ25』キャンペーンの応援イベントという要素を付加しながら、顧客から広く川柳作品を募集することといたしました。

今回のお題は、『美しいわがまち、エコライフ賛歌』と設定しており、優秀作品には、「環境大臣賞」をはじめ様々な賞を予定しています。また、百貨店の特性である地域社会との繋がりを更に強めていくことを目的に、全国の百貨店ごとに各店賞も選定いたします。

入選作品を各店舗の懸垂(けんすい)幕で発表

選者については、現在川柳の第一人者でありテレビ番組等でも活躍している やすみりえ氏を審査委員長に迎えます。選考の結果、優秀作には賞品をプレゼントするほか、来店される数多くのお客様に味わい深い川柳を鑑賞いただき、百貨店に対する親しみを感じていただきたいとの思いを込めて、百貨店独特の告知媒体である「懸垂(けんすい)幕」を短冊に見立てて入選作品を発表いたします。

募集期間については、お題との関係から、故郷への帰省機会の多い夏休みに設定しており、来る7月20日（火）から作品募集がスタートします。多数のご応募を期待しています。

【実施概要】

- ① 実施期間：・募集期間 ⇒ 7月20日（火）～8月31日（火）
・発表期間 ⇒ 10月1日（金）～10月31日（日）
（『百貨店を遊ぼう！』キャンペーン展開期間中に、全国一斉に懸垂幕掲示）
- ② お題：・『美しいわがまち、エコライフ賛歌』
（「地域社会との繋がり」と「エコロジー」を掛け合わせたテーマ設定）
- ③ 応募方法：・各百貨店店頭設置の「川柳応募専用ハガキ」もしくは「郵便ハガキ」
- ④ 作品審査：・審査委員長には、やすみりえ氏（現代川柳の第一人者）を起用
- ⑤ 賞品：・環境大臣賞1名（共通商品券20万円分）、百貨店協会賞1名（同20万円分）、やすみりえ賞1名（同10万円分）、地域賞7名（同3万円分）
各店賞（各店自社商品券等1万円相当賞品）
- ⑥ 告知方法：・ポスター、POP、協会HP、及びニュースリリース
- ⑦ その他：・懸垂幕設備のない店舗は店内パネル、ポスター展示等で対応

[参考1] 『百貨店を遊ぼう!』キャンペーンについて

昨年10月に、初めて実施した百貨店業界共同販促キャンペーン。統一標語(キャッチコピー)を『百貨店を遊ぼう!』として、10月のキャンペーン期間中には、全国250の百貨店が一丸となって、3つのコアイベント(『全国百貨店けんすいまく川柳』『全国デパート地下イチ押しグルメプレゼント!』『百貨店ブランドショップへのご招待プレゼント!』)を展開した。前述の通り、本年も引き続き、顧客参加型イベント『全国百貨店わかまちエコライフ川柳』を実施するほか、昨年同様にプレゼント企画も計画している。

[参考2] 昨年度の川柳募集企画『全国百貨店けんすいまく川柳』における入選作

川柳募集のお題:「親・子・孫への贈り物」(「まごの日」と「ギフト需要の掘起し」を掛け合わせたテーマ設定)

【グループリ】 贈りもの 大きな手から 小さな手
【日本百貨店協会賞】 さりげなく ギフトに込める ワタシいる
【やすみりえ賞】 思いでの リボンがふえる プレゼント

[参考3] 懸垂幕での入選作発表イメージ



[参考4] やすみりえ氏プロフィール

神戸市出身。大学卒業後本格的に作句を開始、恋をテーマにした句を中心に川柳を詠み続けている。朝日カルチャーセンター湘南校講師。文化庁国語課「言葉について考えるワークショップ」では全国を回り、子ども達に川柳の楽しさを伝える活動をしている。また大人を対象とした各地の講演でも川柳の魅力を伝えている。各メディアで多数の川柳コーナーを担当、選者も務めるかたわら最近ではテレビやフォーラムのコメンテーターとしても活躍。

[参考5] 『チャレンジ25』キャンペーン

2009年9月、鳩山前首相がニューヨークの国連気候変動サミットで、我が国の新たな政策目標として、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減することを表明したが、これを受けて、政府が地球温暖化防止のために進める国民的運動。オフィスや家庭などで実践できるCO2削減のための具体的な行動指針として「25のアクション」をとりまとめ、温室効果ガス排出量25%削減の達成に向けて、その実践を広く国民によびかけている。

『チャレンジ25』キャンペーンホームページ <http://www.challenge25.go.jp/index.html>

本件に関するお問い合わせは、日本百貨店協会(担当;西田、高橋、森、長柴)まで
(TEL:03-3272-1666 / FAX:03-3281-0381)